



No.390 令和4年5月31日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人会長舟久保利明
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: <https://ootakoren.com>
印刷所
東京都大田区中央8-5-1
電話(3752)3391
城南印刷芸術株式会社



3年ぶりに来賓を招いて開催された青年部定時総会

大田工業連合会青年部連絡協議会（以下、青
年部）の第56回定時総会が、4月20日に大田
区産業プラザPi-Oで行われた。近年の定時
総会は、感染症拡大を防止するため令和2年度
は書面決議、令和3年度は各会代表のみで開催
した。令和4年度は感染症拡大が一服している
こともあり、松原忠義大田区長を始め来賓も多
数参加。3年ぶりに、本格的な対面の総会開催
となつた。

今回の総会で2年の任期を終えた松島秀仁委
員長は、冒頭挨拶で「早いもので委員長になつ
て2年が経つた。一昨年はわが国初の緊急事態

宣言が発出され、就任の挨拶もできず会の活動もできず、悔しく無力な思いを感じていた」と任期を振り返り、「ウェブ会議を活用したセミナーの開催や規約の改正、青年部のロゴマークの作成など足元を見つめ直す活動に取り組んできた」と任期を総括した。「現在はウイズコロナとして、様々な活動が行えるようになつていい。青年部は皆が集まつてワイワイやるのが一番楽しい。今年は活動ができたと思うので新執行部にはよろしくお願ひしたい」と期待を述べた。

た。一方で、8月には青年部委員会が結集し、東京2020パラリンピック聖火リレー用の採火器を作製した。10月と11月にはウエーブ会議ツールを駆使した講演会も開催。令和3年3月には川崎キンダースカイフロントでの工場見学会を開催した。令和4年度も引き続きコロナ禍の影響で中止・延期の可能性があるが、細心の感染症対策を前提に活動を行っていく（詳細は別表参照）。令和3年度の事業報告と収支決算報告、令和4年度の事業計画と收支予算は満場一致で可決した。

続く役員選任では新委員長として蒲田工業経営研究会の福元雅治氏（川内商工社長）が、副委員長に蒲田工業協同組合木鶴会の奥山隆行氏（日新電気社長）が選任された。前例に倣い、監事には松島秀仁前委員長が就いた。

最後の来賓挨拶で、大田工業連合会の舟久保利明会長は「大田工連青年部は大田工連のゆくえを左右する大事な団体だ。新執行部は本当に頑張ってほしい。青年部はかつて6つ存在したが、過去の経緯があり現在は4つだ。ぜひあと2つ増やしてほしい」とエールを送った。松原忠義区長は「コロナで思うような活動ができなかつたと思う。本当にご苦労様でした」と前執行部を労つた。

実施月	事業名	担当会	備考
4月	第 56 回定期総会	大田工連青年部	
8月	納涼会	大森工場協会 YM クラブ	
9月	工場見学会	蒲田工業 経営研究会	
10月	委員引継ぎ研修会	蒲田工業協同組合 木鶴会	1泊2日を予定
	講演会	工和成年会	
11月	OTA ふれあいフェスタ	大田工連青年部	各会青年部で 出展予定
12月	マッチングセッション OTA2022	青年部有志	
	忘年会	大森工場協会 YM クラブ	
2月	テクニカルショウヨコハマ等 展示会	青年部有志	共同出展を予定
4月	第 57 回定期総会	大田工連青年部	

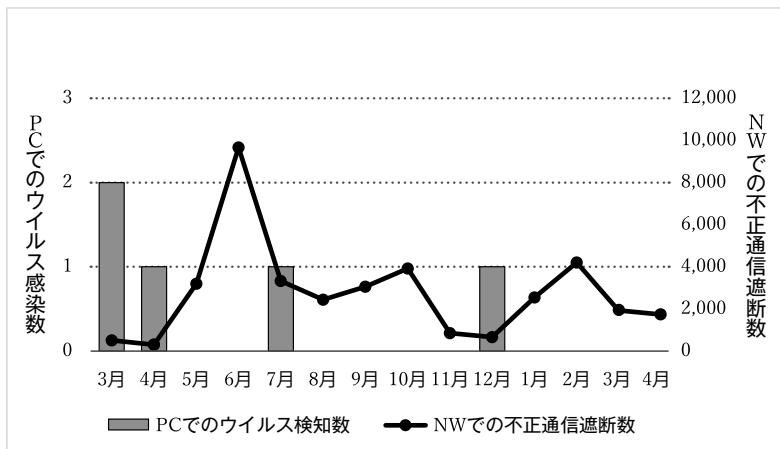
※実施月についてはあくまで予定であり、変更となる可能性があります。

第56回 大田工連青年部定期総会開催

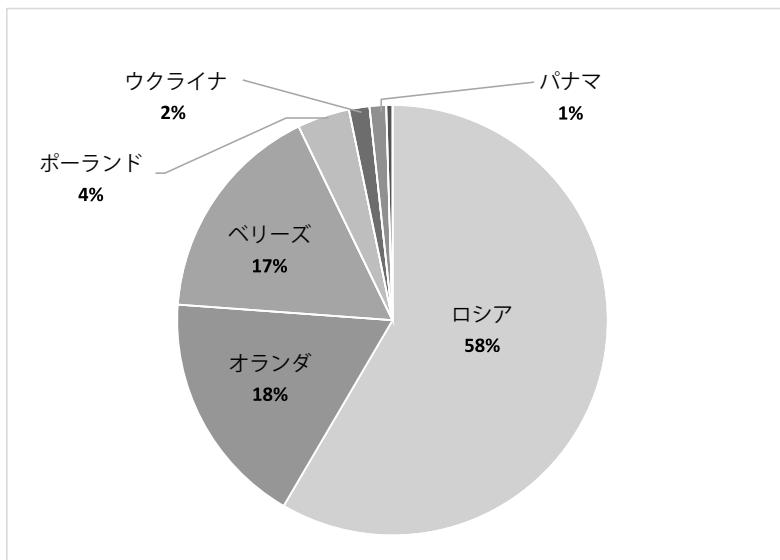


挨拶する舟久保利明大田工連会長、松原忠義大田区長

図表1 サイバー攻撃件数の推移



図表2 攻撃発信国



※ SECURITY ACTION

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/index.html>

助成金の活用も検討
今年度も、このような国の方針に沿った形で、国が推奨するセキュリティの一つの基準であるSECURITY ACTTION（※）宣言の支援や、助成金を活用して国が推奨するセキュリティ対策サービスを皆様にお試しいただけないかを検討しておられます。今年度も、皆様のセキュリティ強化の一助になれるよう活動を継続してまいりますので、積極的なご協力をお願いいたします。

リティガイドラインにのつとり、工和会協同組合を中心にセキュリティガイドラインを策定しました。

4月に入り、新年度がスタートしましたが、ウクライナへの軍事侵攻を背景に、世界的にサイバー攻撃件数は高い水準で継続しております。前号にてお伝えいたしました。当会会員企業約30社の3月までのサイバー攻撃状況を報告します。

サイバー攻撃3倍に増加

2022年に入つてから増加傾向であったサイバー攻撃件数は、3月に減少傾向に転じました

が、昨年12月と比べると3倍に攻撃が増加した状態を維持しております（図1）。さらに、これらの攻撃の、約6割がロシアからとなつており（図2）、現在のウクライナ問題に関する攻撃でこれが危惧され、国的重要インフラに関わる会員企業も多い当会としても他人事ではありません。会員企業の皆様においても、「不審なメールは開かない」「Windowsやアプリケーションは最新の状態を保つ」といった基本的な対策を従業員にも周知いただけますようお願いいたします。

サイバー攻撃の激化に伴い、各県、IPA（情報処理推進機構）が目標とする中小企業向けセキュリティ強化の検討が進めています。

前年度は、当会としても経産省、IPA（情報処理推進機構）が目標とする中小企業向けセキュリティ強化の検討が進んでいます。

工和会協同組合でガイドラインを作成

経済産業省はじめとする各省庁では、以前にもまして、国防として経済安全保障上、重要なサプライチェーンに属する中小企業のセキュリティ強化の検討が進んでいます。

各省庁からも再三の注意喚起がされております。今までにも増して注意励行をお願いします。

ウクライナへの軍事侵攻を背景に、サイバー攻撃3倍に増加！

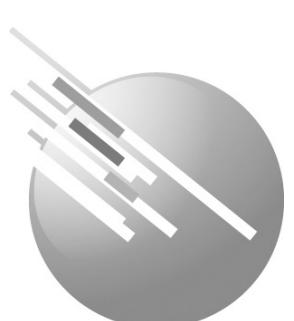


令和4年度大田区「優工場」を募集します！

人に優しい、まちに優しい、技術・経営に優れた工場を「優工場」に認定し、さらに優秀な工場を表彰することによって、大田区の工業に従事する人のやりがい、生きがいを引き出すとともに大田区工業の振興を図ることを目的とします。貴工場の優秀性を内外にアピールするチャンスとして「優工場」にぜひご応募ください。

応募資格	大田区内で生産・加工現場を有した常時稼働している工場（工場認可が必要） ※工場及び労働環境などの状態が法令等に抵触する場合は対象とならないことがあります。
募集期間	令和4年6月1日（水）～7月29日（金）17時必着 ※申し込みを希望される場合には、事前に下記担当までご連絡ください。
実地調査	8月31日（水）～9月2日（金）いずれか1日（90分程度）
最終確認	9月26日（月）、10月3日（月）いずれか1日（30分程度）
審査	実地調査を踏まえ、10月の審査会にて決定致します。
認定期間	5年間（平成30年以降認定を受けた工場は今年度お申込みいただけません。）
表彰	令和5年2月9日（木）会場：未定

お問合せ (公財)大田区産業振興協会 プロモーションチーム TEL: 03-3733-6476 FAX: 03-3733-6459



優工場

2022年度 新入社員研修 未来の大田区製造業を担う人材を育成！



講義やグループワークでビジネスマナーを学ぶ新入社員たち

研修に参加した加藤研磨製作所の近藤里さんは、「5Sの意味が詳しく分かって良かつた。整理・整顿とは片付けるだけかと思っていたが、誰にでもわかりやすくするのが目的と知つて勉強になつた」と驚きを語った。昭和製作所の古野しづくさんは「コロナで学校も就活もオンラインだったため、ビジネスマナーを学ぶ機会がなかつた。この研修があつて良かった」と研修への感謝を述べた。

大田工業連合会は5月11日から13日の3日間、大田区産業プラザPiOの6階C会議室で「2022年度新入社員セミナー」を開催した。目的は社会人と学生の違いを認識し、新入社員として必要なビジネスマナーを体得すること、ものづくりにたずさわる企業人としての「自覚と誇り」を醸成することだ。加藤研磨製作所、三栄精機工業、三功工業所、昭和製作所、千歳工業、津々巳電機、東邦精機製作所の7社から19名が参加した。

研修初日の冒頭、当会の舟久保利和会長はあいさつに立ち、「会社が期待する人材とは、その会社にとってなくてはならない人間、仕事を任せたら必ずやり遂げる人間です。そのためには自らを研鑽していく必要があります。皆さんに入社した会社の次世代を担う覚悟で働いてほしい」と新入社員達を鼓舞した。大田区産業経済部の古川雅章工業振興担当課長は「大田区はものづくりの町、産業の町であり、事業所数や工業出荷額は都内でナンバーワン。それを支えて

初日のセミナーは高齢・障害・求職者雇用支援機構高度ポリテクセンターの講師である鈴木良之氏による「5Sについて」の講義で幕を開けた。製造業の基本である5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）についてのレクチャー。若者達が理解しやすいよう、そもそも「企業とは何か、何を目的に存在しているのか」という所から話をスタートした。より良い会社を作る必要があり、そのためには5Sが重要であると語る鈴木先生。

午後のオリエンテーションでは、企業官公庁などの組織で「人」に関する課題解決をサポートしている株式会社アール&キャリアの専属講師、江木淳子講師と佐藤外美子講師が登場。社会人としての心構え、コミュニケーションメソッド、基本的なビジネスマナーについて講義した。江木先生は「お給料はもらうものではなく稼ぐもの」、「SNSで何でも呟いてはいけない」「皆さまの行動のへの評価が、会社の評価につながります」など語り、新入社員達は熱心にメモを取っていた。

12日の講義では電話対応や他社訪問、来客対応などビジネスで良くあるシチュエーションの対応法をロールプレイングで学習。13日の講義ではビジネス文書の作成やP D C A（計画・実行・点検・改善）を回す事による効率的な業務の進め方などを学んだ。

生が長年製造業の現場で働いてきた実体験を交えて講義すると、新入社員達は目を輝かせて話を聞き入っていた。

消費税のインボイス制度の登録申請はお早めに！ (大森、雪谷及び蒲田税務署からのお知らせ)

来年10月1日から消費税の仕入税額控除の方式として「適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)」が始まります。

制度開始日からインボイスを発行するためには、来年3月31までに登録申請が必要です。制度開始へ向けた準備作業をスムーズに行うためにも、早めの登録申請をお願いいたします。制度についての詳細は、国税庁HPの「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。また、同サイトにオンライン説明会や各税務署で実施する説明会の日程を掲載しています。

【インボイス特設サイト】 <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

【説明会】 https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice_setsumei.htm

なお、制度に関する一般的なご質問等は、インボイスコールセンターで受け付けております。

【TEL】 0120-205-553(無料) 【受付時間】 9:00~17:00(土日祝除く)

事務局から 第14回



新年度が始まり早や2ヶ月、各種事業はwithコロナを意識しつつ、お陰様で順調に実施しております。昨年度、延期の末にリモート開催となった新入社員セミナーもリアル開催となり、胸をなでおろしております。年度末には夏休みに予定していた「親子で楽しむロボット作り教室」を子ども達の春休みに合わせて開催することができました。子ども達から新入社員までリアルに顔を合わせてのものづくり教室やセミナーは、マスク越しにも活き活きとした笑顔や真剣に課題に取り組む眼差しが溢れています。

6月には当会の定時総会が開催されます。役員改選の年でもあり、新たな役員の皆さまと共に令和4年度の事業計画が滞りなく安心安全に実施出来ることを願ってやみません。

各団体の皆さまにおかれましても「今年度こそ！」の思いで工場見学会やセミナーの計画などを立てられていることと存じます。実施にあたりご不明点などがありましたら何なりと事務局までお申付けください。いつでもご連絡をお待ちしております。

春休み『ロボット作り教室』開催 親子で二足歩行ロボットを製作！

桜の花が満開となった3月28日、29日、大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は、大田区産業プラザPiO1階の大展示ホールで、春休み親子で楽しむロボット作り教室を開催した。28日は13時30分から、29日は9時からと13時30分からの3回開き、各回に約40組の親子が参加した。教室の開催にあたり、大田工業連合会の西川恭子事務局長は「今日はロボット作りを楽しんでください。来週から元気に学校に行けるように、マスクをして目や鼻や口を手で触らないようにしましょう」と感染拡大への注意を呼びかけた。

今回教材として使われたのは、二足歩行ロボット「ステッピー」だ。今回の教室で講師を務めた、芝浦工業大学の事業法人であるエスアイテック（東京都江東区）が製造・販売するロボット

キットで、3時間程度で組み立てられるシンプルな構造が特徴。単三電池か単四電池で駆動し、二足歩行のほか、綱渡りもできる。

子ども達は、自宅から持参したニッパーとドライバーを使い、ステッピーを組み立てていった。説明書を見ながらの作業だったが、細かな部品も多く、構造が複雑な箇所も。子が部品を支えて親がドライバーを回したり、親が配線の接続をガイドしたり、親子で助け合いながら作業を進める姿が見られた。山王小学校5年生の森田有希也さんは「ロボットが好き、モノづくりが好きなので今回参加しました。配線を繋ぐところは難しかったけれど、ロボットが動くのは楽しかった」と目を輝かせた。小学2年生の男の子と参加したお父さんは「妻が申し込んで参加しました。私自身ダンダムのプラモデルをたくさん作っていたので、親

がほとんど作ることになるかと思いましたが、結構子供も頑張りました」とコメントした。

組み立てが一段落すると、それぞれのテーブルの上でステッピーが動き出した。会場内にはモーター駆動音と、シャカシャカというアルミ筐体の作動音が響いた。最初からスムーズに歩けるステッピーは少なかったが、子ども達は何度も調整に取り組み、多くのステッピーが二足歩行するようになった。会場後部に作られた歩行コースや綱渡りのコースでは、コミカルに動くステッピーを見て親子の笑顔が溢れていた。



親子で息を合わせ、ロボットの綱渡りに挑戦した

国の融資制度「マル経融資」をご存知ですか？

マル経融資は、商工会議所の推薦にもとづく、日本政策金融公庫の無担保・保証人不要（信用保証協会の保証も不要）の融資制度です。

[限度額] 2,000万円 [利率] 1.21%
(2022年5月1日現在)

[融資対象]従業員20人以下
(宿泊業、娯楽業を除く商業・サービス業5人以下)の法人・個人

[用途]事業資金(運転・設備資金)

[返済期間]運転7年以内・設備10年以内

◆審査の結果、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

経営上でお悩みの時

《予約制・無料》

窓口専門相談をご利用ください

・法律相談・税務相談・労務相談

※本相談は、経営に関する相談に限定しております。

東京商工会議所 大田支部
☎ 3734-1621 大田区南蒲田1-20-20 (大田区産業プラザ5階)

※大田区より当初3年間、支払い利息の40%が補助されます。

※一定の要件を満たす設備資金については上記金利より当初2年間0.5パーセント引下げとなります。

※会員非会員を問わずにご利用いただけます。

※この融資限度額及び返済期間の取扱いは2023年3月31日日本政策金融公庫受付分までとなります。